



社協だより

122

2022.7.15発行

住みたいまち大刀洗 住んでよかった大刀洗町



今号の主な内容

- 令和3年度 事業報告・収支計算総括表
- 『生活に関するアンケート』結果報告
- 笑顔キラキラ☆保育園だより
- 要援護者見守りネットワーク協議会全体会報告
- 新型コロナウイルス感染症の影響による一時的な生活資金の貸付のご案内
- 災害ボランティア講座報告
- ぶくちゃんからの挑戦状



笑顔、見つけました。

6月8日 山隈公民館にて ミニデイ会員の皆さん

■ 社会福祉法人 大刀洗町社会福祉協議会

〒830-1201 大刀洗町大字富多819
TEL/0942-77-4877 Fax/0942-77-6220

■ 大堰保育園

〒830-1205
大刀洗町大字守部465-5
TEL/0942-77-1402

■ 本郷保育園

〒830-1211
大刀洗町大字本郷899-1
TEL/0942-77-2220

URL <http://www.tachi-shakyo.or.jp>

こまめな水分補給をして暑い時は無理しないようにね。
熱中症に気をつけよう。



この社協だよりは、共同募金の配分金より発行しています。

令和3年度 大刀洗町社会福祉協議会事業報告

1. 事業全体に対する総括

新型コロナウイルスの影響により、昨年引き続き地域活動や社協の事業自体も中止もしくは延期せざるを得ない状況ではありましたが、この状況の中で社協としてできることを検討し、地域とともに動いてきた1年であったと考えます。

生活福祉資金特例貸付の実施とともに、生活全般に関する相談を社協も受けることによって、経済的な支援だけでなく福祉の支援・教育的な支援も含め、役場福祉課・包括及び子ども課と連携した支援件数も増加しています。これらに対応するためには、関係機関の連携も必須ではありますが、関係機関の理解や協力が重要となります。そのために『小地域協議会』の存在が非常に大きくなってきました。小地域協議会については、コロナ禍においてもほとんどの地域でほぼ予定通りに実施していただき、このような人と人との繋がりにくい状況であるからこそ「見守り」の重要性を地域の皆様が深く理解されていると実感致しました。

コロナ禍の終息はまだ見えない状況ではありますが、地域住民にとって安心して相談でき、解決に向かうことができる場所として社会福祉協議会を認識していただけるよう、今後も地域住民や関係機関と連携を深め各事業を実施してまいりたいと考えます。

2. 重点目標

(1) 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の構築

前年度から続く新型コロナウイルスの影響により、経済的に困窮する世帯からの相談が後を絶たず、生活福祉資金特例貸付の受付とともに困窮世帯への継続的な支援の対応として食糧支援の体制を整えました。役場福祉課からの困窮者対応のための食料を活用し貸付相談者への継続的な支援とフォローのための食料配布を行いました。また、小中学校の長期休暇時の子どもの食の確保の一環としてひとり親世帯を対象とした「フードパントリー」を母子寡婦福祉会やロータリークラブと協働し開催。フードバンクふくおかからの支援も併せて、今まで接点が少なかったひとり親世帯への支援のきっかけを作ることができました。

また、町内社会福祉法人との連携事業として、社会福祉法人情報交換会からの発案によって「新型コロナウイルス感染者等に対する買い出し支援」を実施。利用者の申し出はなかったものの、必要な支援を民間である社会福祉法人の強みとして迅速に対応することができました。

コロナ禍によって縮小せざるを得ない活動もある反面、コロナ禍という特殊な状況によって今まで見えなかった課題が表面化してきたこともあり、今後も地域を中心とした課題解決できる支援体制を充実できるよう努めてまいります。

(2) 生活支援体制整備事業の推進

新型コロナウイルス感染症の影響で、協議する場の設定と継続的な実施が非常に困難な状況であったため、「協議体」を開催することができませんでした。

生活課題の解決に向けた動きとしては、課題の一つであった移動や買い物について、地域振興課の主催する「地域生活交通検討会」へ参加させていただきました。巡回バスの試行運転に関する広報や説明に関して、社協が担当しているミニデイ等の場を活用していただき、情報の伝わりにくい高齢者の方々の周知の場を調整いたしました。

また、民生委員児童委員協議会の協力のもと、歳末たすけあい運動の見舞金配布時に「生活に関するアンケート」を実施し、一人暮らしの後期高齢者の生活状況について調査を行いました。このアンケート調査の結果を今後の協議の材料として活用し、地域の生活状況の把握と必要な活動へ繋ぐことができるよう進めてまいります。

(3) 第2期地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定

令和3年度より施行された第2期地域福祉計画・地域福祉活動計画については、全戸配布による概要版の周知のみでは住民に対する理解を進めることは困難であると考え、地域において地域福祉を推進する中心である小地域協議会において、直接的に地域福祉の推進または地域福祉に対する理解を深めてもらえるよう個別に説明を行いました。福祉に関する上位計画となったため、内容が多岐にわたっており、全ての項目において地域住民の皆様に理解していたくのは難しいのですが、地域福祉

という言葉を身近に感じていただくことによってその理解は進むと考えますので、今後も機会あることに説明を行ってまいります。

事業報告

法人運営部門

- (1) 社会福祉協議会の運営
 - 理事会・評議員会の開催、評議員選任・解任委員会の開催
 - 苦情解決体制の整備、事業活動・サービス内容等の評価
 - 社会福祉協議会会長表彰の実施

地域福祉活動推進部門

- (2) 住民主体の地域福祉活動の推進（地域力強化推進事業）
 - 要援護者見守りネットワーク事業・要援護者見守りネットワーク協議会幹事会、全体会の開催
 - ・小地域協議会の推進強化
 - ・救急医療情報キット「いのちのバトン」事業の実施
 - ・配布数・314セット
 - ・小地域たよりの発行
 - ミニデイサービス事業の育成と支援
 - ・延べ実施回数・114回
 - ・延べ利用者数・1,434名
 - ・延べボランティア数・1,014名
 - ・合計・2,448名
- 地域福祉講座の開催
- (3) 高齢者福祉の推進事業
 - 福祉バス運行事業
 - 男性の料理教室への支援
 - 老人クラブの育成と支援
 - 折り紙サロンの実施
 - 健康マージャンサークルの支援
 - 初心者向け健康マージャン教室の開催
- (4) 障がい者福祉の推進事業

- 凸凹の会（点訳ボランティア）
○身体障害者福祉協会への支援
○視覚障害者へ朗読ボランティアによる「声の広報」録音CD配布
○地域自立支援協議会への参加
- (5) 子育て支援の推進
○子ども見守り隊への支援
(6) 母子・寡婦・父子福祉の推進
○母子寡婦福祉会の援助
(7) ボランティア活動の推進
○ボランティアセンターの運営
○ボランティア連絡協議会への連携
○ボランティア団体の育成・活動支援
○ボランティア入門・養成講座の開催
○ボランティア情報誌「ちよぼ」の発行 年3回
○災害ボランティア活動
8月18日水害 8月23日下高橋現地調査（区長・民生委員同行）
(8) 福祉教育の推進
○福祉協力校事業
○小・中学校の福祉教育への協力と支援
○保育園の福祉事業への援助
(9) 共同募金・歳末たすけあい運動への協力
(10) 当事者組織への支援
○とまり木の会（家族介護者の会）への支援
○語ろう会（障害者当事者及び家族の会）への支援
○ぽけっと（障害児・者親の会）への支援
(11) 広報と啓発活動
○社協だよりの発行 計6回発行。
○ホームページの作成・運営
(12) 第2期地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進

(13) 各種相談事業
相談援助部門

- (14) 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）
(15) 生活福祉資金貸付事業
(16) 臨時食料品等給付事業（フードバンク）
- (17) 在宅福祉サービス部門
○在宅介護支援事業
○身体障害者・知的障害者・児童へのホームヘルプ事業（障害者自立支援）
○生活管理指導員派遣事業
○福祉有償運送事業
(18) 一般相談支援事業
(19) 特定相談支援事業
(20) 障害児相談支援事業
- 児童福祉施設運営部門
(21) 保育園運営事業
○大堰・本郷保育園の運営
(22) 病後児保育事業
- 受託事業部門
(23) 障がい者相談支援事業
○障がい児・者、引きこもりの方等の相談支援（就労支援、生活支援）
○事業所等関係機関との連携他
(24) 生活支援体制整備事業
○生活支援コーディネーターの配置
○『生活に関するアンケート』の実施
(25) 地域力強化推進事業
○総合相談窓口「せいかつ☆ふくし相談窓口」の設置
○役場関係機関、専門機関との課題抽出及び課題解決に向けた連携体制の構築
○社会福祉法人情報交換会による支援体制の構築

令和3年度 収支計算 総括表（令和4年度への繰越金）

（単位：円）

会計名	拠点区分	サービス区分名	期首金額 (前年度繰越金)	収入済額	支出済額	繰越金
一般会計	本部	1. 法人運営	2,615,989	34,692,431	33,979,500	3,328,920
		2. 地域力強化推進事業	3,104	8,141,070	8,141,070	3,104
		3. ミニデイ事業	0	31,440,000	31,440,000	0
		4. 共同募金配分金事業	286,115	4,223,700	4,139,615	370,200
		5. 生活管理指導員派遣事業	496,537	0	0	496,537
		6. 基準該当居宅支援事業	833,211	281,670	240,334	874,547
		7. ボランティアセンター事業	237,880	3,268,000	3,268,000	237,880
		8. 生活福祉資金貸付事業	459	833,037	832,540	956
		9. 心配ごと相談事業	3,725	365,000	368,568	157
		10. 福祉バス運行事業	276,028	4,392,000	4,392,000	276,028
		11. 福祉有償運送事業	278,312	214,690	251,526	241,476
		12. 病後児保育事業	0	4,071,773	4,071,773	0
		13. 障害者相談支援事業	0	9,101,770	9,101,770	0
		14. 生活支援コーディネーター事業	0	3,941,600	3,941,600	0
		15. 日常生活自立支援事業	0	901,500	870,600	30,900
		小計	5,031,360	105,868,241	105,038,896	5,860,705
	大堰保育園	1. 大堰保育園	24,101,795	162,021,150	167,240,994	18,881,951
	本郷保育園	1. 本郷保育園	25,803,425	197,841,373	200,341,042	23,303,756
合計			54,936,580	465,730,764	472,620,932	48,046,412



誰もが安心して暮らし続けられる 大刀洗町を目指して…

「生活に関するアンケート」を実施しました

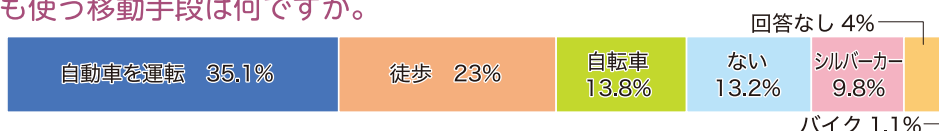
昨年12月に、大刀洗町内で一人暮らしをしている75歳以上の方を対象に、「生活に関するアンケート」を行いました。このアンケートは、誰もがいつまでも大刀洗町で暮らしていくことができるよう、生活の中での困りごとを調査することを目的に、民生委員・児童委員の協力を得て実施しました。

性別	男性	36	年齢	75～79歳	45
	女性	128		80～84歳	60
				85～89歳	41
				90～94歳	17
				95歳以上	6
				年齢回答なし	1

校区	菊池	本郷	大堰	大刀洗
	31.2%	27.6%	21.8%	19.4%

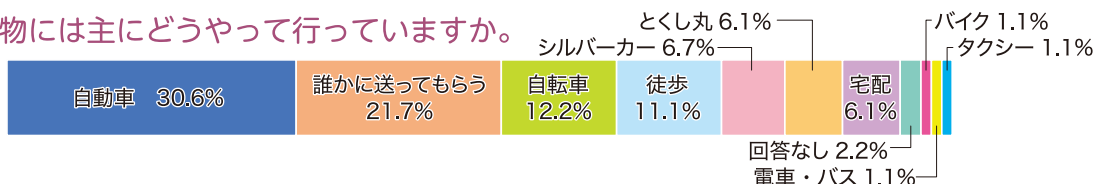
Q1

いつも使う移動手段は何ですか。



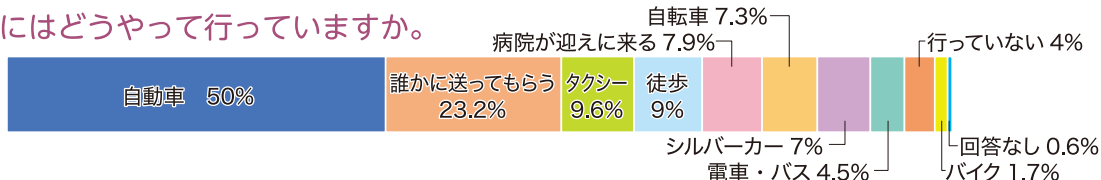
Q2

買い物には主にどうやって行っていますか。



Q3

病院にはどうやって行っていますか。



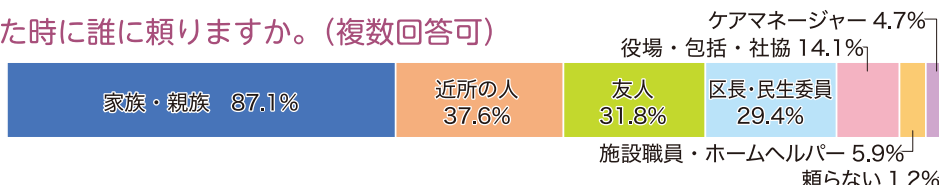
Q4

家族とはどのくらい会っていますか。



Q5

困った時に誰に頼りますか。(複数回答可)



今回のアンケートは75歳以上の一人暮らしの方の困りごとを把握するために実施しました。

移動に関する項目については「自動車」を運転する割合が1番高くなっていますが、結果を年齢別に見てみると、年齢が上がるにつれ、自動車を運転する割合が減り、「徒歩」や「誰かに送ってもらう」の割合が高くなっていました。移動を含め、困ったときには近くに家族・親戚などの頼れる方の存在があり、支え合う体制ができているようです。

また、7月より「ひばり号（のりあい定額タクシー）」の運行が始まりました。利用料の割引もありますので、利用を検討してみたいかがでしょうか。（※利用するには、事前申請が必要です。）

「ひばり号（のりあい定額タクシー）」の詳細については、地域振興課 77-0173 までお問合せください。



頑張った後の楽しみ☆
気持ちいいね!!



ケガや事故がなく
プール遊びが楽し
めますように☆

大堰保育園

ゴシゴシ!!
きれいになったかな?



暑い夏に負けない体力づくり

6月初旬、年長組さんはプール掃除をしました。「みんなで使うプールだからきれいにしよう!」とたわしでゴシゴシとプール掃除を頑張りました。最後は水遊び! 吹き出し口から出てくる水に満面の笑みでした☆

6月24日は待ちに待ったプール開き! プールでの約束をみんなで確認して「ケガなく楽しくプール遊びができますように」「泳ぎが上手になりますように」と祈願しました。プール遊びが始まると子どもたちの歓声と笑顔に包まれました。これから安全面に配慮しながら夏の遊びを楽しみたいと思います。

笑顔キラキラ☆ 保育園 だより

本郷保育園



みんなでいっしょに
かんばろう。

コツコツ続けて元気な体

本郷保育園の子どもたちは体を動かすことが大好きです。はりきってサーキットやリズム運動をしています。

たくさん動いて、たくさん食べて、心と体を元気にしてほしいと願っています。



片足でけんけんが
できるようになっ
たよ。



先生のまねっこ。
足ゆびもギューと
のばせるよ。

要援護者見守りネットワーク協議会全体会を開催

R4.6.27

要援護者見守りネットワーク事業とは…

高齢者や障がいのある方や子育て中の方など、ちょっとしたお手伝いや配慮があるだけで、助かる方がいます。

困ったときに「助けて」を言える、相談できる、それに気づいてあげられるような、地域での関係づくりを目指して始めました。

各行政区においては、定期的に「小地域協議会」という見守り活動に関する情報交換の場が開催されています。

今回は全行政区の区長、民生委員、老人クラブ会長 68 名に参加いただきました。

見守り活動の進捗状況、ひばり号（のりあい定額タクシー）についての報告、昨年 12 月に実施された「生活に関するアンケート」についての情報共有が行われました。



見守り活動は、安否を確認する活動ではなく、つながり（関係づくり）の活動です。必ずしも訪問をする必要はなく、散歩のときやスーパーで見かけたときに挨拶を交わすなど、日ごろの付き合いも見守りのひとつです。今後も無理のない範囲で、見守り活動へのご協力をお願いいたします。



災害ボランティア講座報告 (6/11)

「災害ボランティアセンター（以下：災害VC）の役割」と、「私たちにとしての助け合い」について学びました。

災害 VC は、被災者の要望（ニーズ）等を聞き取り、ボランティアをつなぐ役割と機能を持っています。災害発生時、ボランティアの必要性が考えられる時、行政と社会福祉協議会が協議して立ち上げます。近年はコロナ禍を踏まえ、ボランティアの事前登録や地域・人数を限定した募集等、その在り方も進化してきています。

大刀洗町では災害時の町内の助け合いとしてボランティアの事前登録を行っています。直接作業等に入る支援者として、また被災者とボランティアをつなぐ「つなぎ役」として、同じ「住民同士」という安心感が何よりの支援です。

また、災害を通して、それまで見えなかった生活課題が顕在化することもあります。ふだんからの「地域の支え合う力」「問題を早期発見できる力」「心配な人をほっとかない力」がこれからの地域に求められる必要な力です。

*災害ボランティアの事前登録を受け付けています。被災された方がご自宅で生活できるようになるためのお手伝いです。詳しくはお問い合わせください。



新型コロナウイルス感染症の影響による一時的な生活資金の緊急貸付に関するご案内

新型コロナウイルス感染の影響を受け、休業や失業等により生活資金でお悩みの方に向けて、生活福祉資金のうち以下の資金について特例貸付を実施しています。

○緊急小口資金（休業された方向け）

休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持が困難となった場合に、**少額の費用の貸付**を実施。

○総合支援資金（失業された方向け）

収入の減少や失業により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となった場合に、**原則3か月以内の生活費の貸付**を実施。

※お問い合わせや貸付のご相談は大刀洗町社会福祉協議会へお電話をお願いします。

やってみよう!

ぷくちゃんからの挑戦状

文字を並びかえて、出来ることばは何か?



例	チ	ワ	ウ	⇒	ウ	チ	ワ
①	ア	オ	ガ	サ	⇒		
②	ウ	メ	ソ	ン	⇒		
③	ガ	マ	ノ	ア	ワ	⇒	
④	イ	カ	リ	ス	ワ	⇒	
⑤	ギ	ボ	ウ	ム	ワ	ラ	シ
⑥	コ	ウ	カ	ン	セ	ト	リ
⑦	オ	ラ	イ	ジ	タ	ソ	ウ

総合福祉相談窓口 **せいかつ☆ふくし**相談窓口

大刀洗町社会福祉協議会 TEL: 0942-77-4877

困りごとに対しての相談窓口の紹介や解決に向けた支援をお手伝いします。

